



生き心地の良い学校とは

校長 桑 原 久 美

朝晩の冷え込みも風の涼しさも、秋を実感します。校長室で育てているアサガオは、葉が黄色く枯れ、夏休み中に咲いた花は真っ黒い種子へと変化しています。未練がましく、花を咲かせたいと毎日水やりをしています。すると、つぼみらしきものがあちこちに見え始め、とうとう花を咲かせました。諦めずに手を懸けると、花も期待に応えようと頑張っているように見えます。

夏休み中に自殺防止の研修会に参加した先生が、一冊の本を紹介してくれました。岡檀（おかまゆみ）著「生き心地の良い町」（講談社）です。副題が「この自殺率の低さには理由がある」です。この副題が気になって、すぐ購入を決めました。自殺者を出さないための手立てを考えると、本人に直接働きかけることが最初に浮かびますが、取り巻く環境そのものに防ぐ手立てがあるのではという発想が意外で、知りたいと読み始めました。

自殺率が低い町を調べる中で、その要因が5点あると書かれています。私がその中でもっとも心惹かれた内容が「いろんな人がいてもよい、いろんな人がいたほうがいい」という点でした。共同募金に協力しなくても、老人クラブに入らなくても、否定されることがない、同調圧力がない町だそうです。個人の自由意思が尊重され、みんなと同じことをしなくても不利益を被ることがないのです。周りとは違っていても、悪口を言われたり仲間外れになったりしない社会です。素晴らしいですね。

また、特別支援学級設置に関して、この町だけが異を唱えているそうです。その理由を町議員に尋ねると、以下の言葉が返ってきたそうです。「世の中は多様な個性をもつ人たちでできている。ひとつのクラスの中に、いろんな個性があったほうがよいのではないか」

この言葉は深く心に残りました。世間には、障がいの有無、年齢、性別、国籍など様々な人が暮らしています。しかし、人と違うところがあったとしても、そのために差別されたり、不利益を被ることはあたりしてはなりません。その違いを個性として理解し受け止められる人を育てることが学校の役割の一つと考えます。

本校の児童は、すでにその素養をもっているようです。昨年度6年生に外国籍の児童が転入してきました。言葉が思うように伝わらずお互い苦労したことを聞きましたが、日常だけでなく修学旅行でも、身振りを使い、周りの児童が上手にフォローし、お互い笑顔で過ごしていました。また先日、運動委員会主催のリレー大会がありました。いろいろな児童がいるので、ルールが分かるか、みんなと一緒に行動できるか心配でしたが、どの子も楽しんで活動していました。誰もが必死に走り、大声で応援し、満足げな表情が素敵でした。

どんな個性をもっている人も受け入れられる場が、子どもたちにとって「生き心地の良い学校」となるよう、努めていきます。

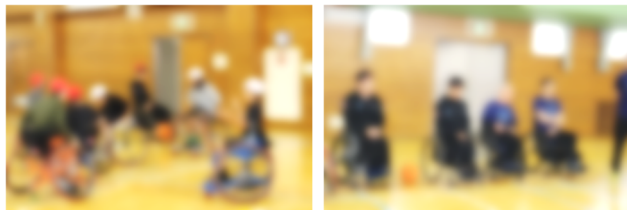
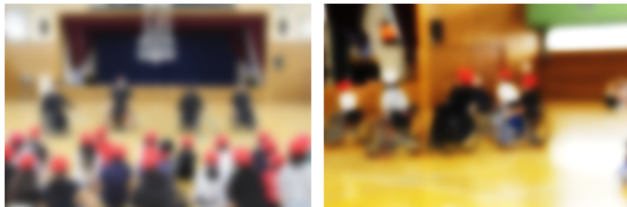
車いすバスケットボール体験会 4年総合「福祉学習」

9月14日(月)、本校体育館にて4年総合の福祉学習の一環として「車いすバスケットボール体験会」を実施しました。

当日は、上富良野町社会福祉協議会のご協力のもと、車いすバスケットボールチーム「旭川リバーズ」の皆さんをお招きしました。子どもたちは、競技用車いすの操作に苦戦しながらも、選手の方々にコツを教えていただきながら楽しそうに車いすを操り、鬼ごっこやミニゲームなどに挑戦しました。

体験を通して、障がい者スポーツの魅力や楽しさを肌で感じるとともに、相手の立場に立って考えることの大切さや、「誰もが共に生きる社会」について考えを深める貴重な時間となりました。

ご協力いただいた皆様、子どもたちにこのような貴重な学習の機会を提供していただき、本当にありがとうございました。



プロの表現に触れる ～R8 町民芸術劇場～

9月17日(木)、保健福祉センター「かみん」にて、町民芸術劇場が開催され、人形劇「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」を観劇しました。

子どもたちにも人気のある作品ということもあり、会場は終始わくわくとした熱気に包まれていました。目の前で繰り広げられる人形たちの躍動感あふれる動きや魅力的な物語の世界観に、子どもたちもすっかり引き込まれ、目を輝かせながら見入っていました。

プロの本格的な舞台芸術に直接触れることで、感性を豊かに育むすばらしい機会となりました。事業を主催・運営して下さった関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



十勝岳ジオパーク出前授業 4～6年生

9月15日(火)・16日(水)・18日(金)の3日間、役場商工観光課ジオパーク推進室の●●●●さんをゲストティーチャーにお迎えし、4～6年生の理科の授業を行いました。

担任とのチームティーチングのもと、4年生は「雨水と地面」、5年生は「流れる水と土地」、6年生は「土地のつくり」の学習に取り組みました。授業では、地域の自然を知り尽くした専門家ならではの工夫を凝らした実験が行われ、子どもたちは興味津々で観察や考察を行っていました。

教科書だけでは味わえない本物の体験を通して、土地の成り立ちや自然現象について、より一層学びを深めることができた貴重な機会となりました。



十勝岳噴火警戒レベル「レベル3」に伴うお願い

現在、十勝岳の噴火警戒レベルが「レベル3(入山規制)」に引き上げられています。学校では、町や関係機関と連携し、最新情報に基づき児童の安全確保に努めてまいります。ご家庭におかれましても、以下の点についてご確認とご協力をお願いいたします。

- **危険地域への立入禁止** 火口から概ね3km以内の警戒区域には絶対に近づかないでください。
- **正確な情報の把握** 町の防災行政無線や気象庁などの信頼できる情報をご確認ください。
- **学校活動について** 現在は通常通りですが、状況により保護者引き渡し等の措置をとる場合があります。

10月の目標

生活	【低】学芸会にむけてがんばろう
	【中】学芸会に向けて力を合わせてがんばろう
	【高】協力して学芸会を成功させよう
保健	目を大切にしよう
給食	地域の食材を知ろう

10月の行事予定

6	火	読み聞かせ1年、委員会活動、ロング昼休み
9	金	学級経営交流会
13	火	読み聞かせ2年、職員会議、定時退勤日
14	水	朝会(認証式)
15	木	中学校職場体験学習
16	金	研修日
19	月	学芸会特別時間割開始
23	金	ロング昼休み
27	火	学芸会特別委員会
29	木	定時退勤日